

全段連 第三次環境自主行動計画（温暖化対策）

2017年度実績フォローアップ調査結果

2018年7月20日

全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、環境自主行動計画に対する進捗状況を把握するため、本年5月に自主行動計画参加企業に対して2017年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

<計画>

- ・目標：2006年度～2008年度の3年間平均に対し、2017年度～2020年度の4年間平均でCO₂総排出量を15.3%、CO₂原単位で21.9%削減する。
- ・自主行動計画参加企業数：59社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：70.8%（2016年度）

<実績>

項目		基準年度	参考実績	計画	実績
		2006～2008年度 平均	2016年度 (基準年度比)	2017～2020年度 平均 (基準年度比)	2017年度 (基準年度比)
貼合生産量	百万m ² /年	9,422	9,944 (105.5%)	10,217 (108.4%)	10,202 (108.3%)
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	597,623	506,162 (84.7%)	506,162 (84.7%)	510,461 (85.4%)
CO ₂ 削減量 ^{※1}	t-CO ₂ /年	—	91,461	91,461	87,162
CO ₂ 削減率	%	—	15.3	15.3	14.6
CO ₂ 原単位 ^{※2}	kg-CO ₂ /千m ²	63.43	50.90 (80.2%)	49.54 (78.1%)	50.03 (78.9%)
原単位削減率	%	—	19.8	21.9	21.1

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量。 ※2：CO₂総排出量を貼合生産量で割った値。

【注】基準年度以外のCO₂排出量算定における電力の炭素排出係数は2010年度の数値を用いた。

参加企業1社減のため「第三次環境自主行動計画」（2017年12月公表）の基準値、2016年度実績値及び計画値は改訂している。

<2017年度実績の調査結果について>

2017年度の参加59社のCO₂削減率は目標15.3%対して14.6%の削減となった。貼合生産量は、前年度より258百万m²（2.6%）増加し、CO₂総排出量も4,299t（0.8%）増加した。しかし、CO₂原単位では前年度より0.87kg-CO₂/千m²（1.7%）減少し、改善された。ボイラーの効率化、照明・空調・コンプレッサー等の省エネ設備の導入、生産効率の向上等がその要因である。

第三次計画は、生産量増加によるCO₂総排出量増加を原単位改善の上積みによってカバーし「CO₂総排出量を増やさない」という目標としている。2017年度は前年度より原単位は削減したが、生産量増によるCO₂排出量増分をカバーできず、CO₂総排出量は前年度より増える結果となっており、更に改善を進める必要がある。

以上